

# 新芽を丁寧に

## 地下の茶摘み



# きょう八十八夜「お茶で健康に」延岡市北浦町

きょうは立春から数えて88日目の「八十八夜」。この時期のお茶は香りが良く、健康

れる。  
【日本の里百選】に選定されている延岡市

北浦町の地下茶山では、木下豊彦さん(79)が、家族ら6人で早朝から作業。柔らかな日差しを受けて青々と輝く「やぶきた」の新

芽を丁寧に刈り取っていた。  
今年はやや暖かい気候が続いたため、全体的にいつもより早め」と木下さん。晩生種「おくみどり」の収穫がすでに始まっているという。

同方では、約3分の茶園で1日平均約1トの収穫が続いており、いずれも地元茶葉工場製茶にされ、JA延岡を通してJA宮崎経済連に出荷。後日、入札会に出品される。木下さんは「新型コロナ」の収束は見えないが、おいしいお茶が少しでもみなさんの健康に役立てば」と話している。

地下茶山で進む新芽の刈り取り作業